

第106回 システム自然科学研究科セミナー

第33回 生物多様性研究センターセミナー

- 日時：平成26年7月17日（木） 午後4時半～5時半
- 場所：名古屋市立大学 山の畑キャンパス
4号館大講義室
- 講師：倉林 敦 氏（広島大学・両生類研究施設）
- 題目：両生類系統学研究2題：「パプアヒメアマガエル類の分布拡大ルートについての新仮説」「ヘビからカエルへの遺伝子水平伝播」

演者は、おもに両生類の未解決高次系統関係の解明や大陸分断と関連した生物地理学研究を行っており、最近では、パプアニューギニアとオーストラリアに固有のパプアヒメアマガエル類がこれらの地域に定着した地理的分散ルートについての新仮説を提唱した。本セミナーでは、仮説提唱に至るまでの研究過程を、研究費応募の際の思考方法・競争に負けた時にどのように対処したか・論文審査の際の裏話、などを交えてフランクに解説する。これから研究助成金への応募を行う若手研究者にも参考となる内容と思われる。

セミナー後半では、演者が最近発見した「ヘビ（およびサカナ）からカエルへの遺伝子水平伝播」という興味深い現象について、現在までの結果から予想される仮説や今後の研究の方向性について簡単に紹介する。

山の畑キャンパスへの道順：<http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/location.html>

問合せ先：熊澤 慶伯（名市大システム自然科学研究科、電話：(052)872-5844）